

# 医心 伝心

## 日医 Lib (日本医師会 e-Library)

富山県医師会理事 金子 敏行

すでに本誌や本会ホームページで告知しているところですが、今年の4月から「医報とやま」が日医 Lib (日本医師会 e-Library) にアップされ、閲覧できるようになりました。実はこの日医 Lib については、広報を担当していながら不勉強でしてそれまで知りませんでした。この際、皆さんに解説するためにも一度触ってみようということで、やや IT 音痴気味の担当からの報告です。

日医 Lib は日本医師会の各種発行物をスマホやタブレット端末、PC で読むことができる電子書籍配信サービスです。平成26年から稼働しており、日医雑誌、日医ニュースなど定期発行物、「医師の職業倫理指針」などの各種書籍や講演録が電子化されています。さらに、平成28年より都道府県医師会報の配信機能が追加され、富山県医師会もそれに参加したということです。

一般的な電子書籍 (Kindle など) を利用したことがないので違いがあるのかわかりませんが、使い方は「Store」から書籍を選び自分の「本棚」にダウンロードしてストックします。ただし、購入の体裁ではありますが書籍の代金は発生しません。本棚がいっぱいになっていけば削除できます。現在、都道府県医師会報は、富山を含めて1都1府5県が参加していますが、そのうち2県については所属会員限定公開となっており、閲覧できません。

個人的には紙媒体の冊子や本がその辺に転がっていて適当に手に取れる環境が好きなのですが、コンテンツに触りながら電子書籍のメリットも考えてみました。

収納と携帯に便利。広報担当になってからの「医

報とやま」は念のため取ってあるのですが、結構な場所取りになっています。収納場所が空けば助かります。また、この手の書籍をスマホで読むのはしんどそうですが、タブレットやノート PC なら十分実用的です。ダウンロードしてあればもちろん、ネットに繋がっていれば出先で書籍を探して見ることもできます。

検索機能が使える。EPUB 形式の書籍はキーワードで検索することができます。ただし、都道府県医師会報のほうはどれも PDF なので検索は使えません。これは EPUB でアップしようとする予算が余計にかかってしまう (県医師会負担です) からです。目次だけでも検索かかるようになれば便利なんですけどね。

将来的にコストダウンにつながる (かもしれない)。全都道府県がアップすれば、医師会報をお互いに郵送しあう必要がなくなります。会員への配布も、デジタルとの選択制にして希望者分だけ印刷するにすれば、印刷代、送料がコストダウンになります。ただ、いちいち PC やタブレットを開けないと記事が見られないようでは面倒がる会員が増えて情報伝達が今より悪くなる可能性があります。性急に進めるのも問題でしょう。

あと大事なことですが、日医には永続的にコンテンツが見られる環境が保障されるようお願いします。営利目的ではないので途中で運営が中止されるという事態はないとは思いますが。

使いようによっては大変便利ですので、ぜひ皆さん触ってみてください。